今週のアウトルック(8/10~8/14)

相変わらず難しい展開が続きます。

先週は雇用統計の改善への期待と、実際の改善度のサプライズに大きく左右 されてしまった感じのする一週間でした。

今週の展開はこの改善傾向に後押しされた景気回復基調が持続するのか、 それとも材料出尽くし感から停滞、もしくは反転するのか、見方が分かれる ところだと思います。

ドル円は金曜日の夜に、雇用統計のポジティブサプライズから大きく上昇し、98円目前まで上昇しました。この動きを持続できるかが今週のポイントとなりそうですが、基本的には円安へのブレイクアウトと考えるには少し無理があるように感じています。雇用統計の中身を見ても、民間雇用の改善というよりは、一時的な政府雇用の増大と考える方が正しいと思います。持続的な回復とうことにはまだならないように考えています。

今週は更なる上昇力不足で停滞するという方向で考えています。予想レンジは95円から98円です。

ユーロ円は雇用統計改善によるリスク選考度の拡大が叫ばれてはいますが、逆にユーロドルの下落で、それほど大きな上昇にはなりませんでした。 長期的なポイントとなる140円台には届いていないことも大きな意味を持ちそうです。今週は140円の壁に悩まされるのではないかと考えています。予想レンジは135円から140円の間で考えています。

ポンド円は危ない上昇の再開のように思います。160円台を大きく超えてきていることから、いつ大きく下落してもおかしくないリスクを抱えながらの上昇と考えています。一時的に大きく上昇することも考えられますが、その後大きく下落という危険性もはらんでいるように思います。予想レンジは155円から170円と考えています。

今週は日本がお盆時期とあって薄商いが予想されます。その反面仕掛け的な動きに左右されやすく、一時的な大きな上昇や下落が考えられます。タイトなストップは裏目になってしまうことも考慮するべきなように思います。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了 承ください。